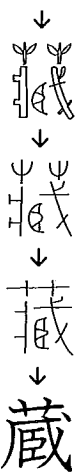


蔵

六年

画数 15
筆順
クシ

蔵 蔵 蔵
蔵 蔵 蔵
蔵 蔵 蔵
蔵 蔵 蔵



穀物の意味を表した「**蔵**」と、武器の「**戈**」と、家来の意味の「**臣**（年550）」と、この字の発音を表した「**蔵**」（漢音はシヨウ）」とを組み合わせで作った「蔵」の略字です。

「税として役所に納められた穀物を、武器をもった武臣たちが守る「おくら」を表したものです。【例】穴蔵、土蔵、宝蔵。

「物を納めておく所」なので、「納める」意味にも使います。【例】貯蔵、収蔵、秘蔵、死蔵、蔵書。また、「隠して置く」意味にも使います。【例】埋蔵、腹蔵。

使い方

▽ぼくの家には昔、土蔵がありました。おとうさんは子供のころ、いたずらをする、土蔵に入れられて、「ごめんなさい。もうしません」と言うまで、出してもらえなかったそうです。

▽おじいちゃんのお蔵の宝物は、ひすいの香炉です。昔、おじいちゃんが中国に行った時に手に入れたのだそうです。緑色で、とてもきれいです。

熟語例

- ▽穴蔵（穴をほって、物をたくわえておく所）
- ▽土蔵（土でできたお蔵）
- ▽宝蔵（宝物を入れるお蔵）
- ▽貯蔵（物をためておくこと）
- ▽収蔵（物を納めておくこと）
- ▽秘蔵（大事に隠して納めておくこと。また、大事にすること。「秘蔵っ子」といえば、大事にしてかわいがっている者のことです。）
- ▽死蔵（しまい込んで、役に立てないこと。）
- ▽蔵書（自分が持っている本）
- ▽埋蔵（埋めて隠しておくこと。）

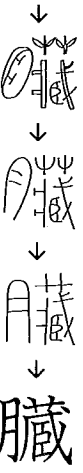
臓

六年

画数 19
筆順
クシ

臓 臓 臓
臓 臓 臓
臓 臓 臓

成り立ち



「お蔵」の意味の「蔵」と、肉体の意味の「月」とを組み合わせで作った字です。

「肉体のお蔵」という意味の字です。

体の中で、いろいろな働きをする物が納められている「肉体のお蔵」とも言える「器官（臓器と言う）」を表した字です。「内臓」とも言い、心臓、肝臓、腎臓、肺臓、脾臓などがあります。

使い方

▽かけ足をすると、心臓の鼓動（どきどきと脈打つこと）が速くなり、呼吸も速くなります。酸素の消費がふえるため、心臓も肺臓もはげしく働かなければならなくなるからです。

熟語例

- ▽内臓は「臓器」とも「臓腑」とも言われ、また「五臓六腑」とも言われます。五臓とは、心臓、肝臓、腎臓、肺臓、脾臓の五つで、六腑とは、大腸、小腸、胆嚢、胃、三焦、膀胱の六つを言います。

熟語例

- ▽臓腑（府〔年610〕は「蔵」のことですから、腑は臓と同じ意味の字です。内臓のことです。）
- ▽臓器（内臓の諸器官、ということ、臓腑のことです。【例】臓器の移植）
- ▽内臓（胸や腹の内部にある臓器、という意味のことばで、「臓腑」のことです。）
- ▽臓物（「内臓」のことですが、鳥や獣や魚などの内臓のことを言うのに使います。単に「物」とも言います。【例】「物」は味は良くないけれども、栄養には良い食べ物です。）